

平成30年分 中部空港 貿易概況(速報)の要旨

輸出は2年連続の増加、輸入は2年連続の増加で開港以来最高額

平成30年分について、輸出は「通信機」、「半導体等電子部品」などが減少したものの、「自動車の部分品」、「自動車用等の電気機器」、「電気計測機器」などが増加したことから対前年比15.6%の増加となった。また、輸入は「医薬品」「有機化合物」などが減少したものの、「原動機」、「通信機」、「半導体等製造装置」などが増加したことから、同15.5%の増加となり、開港以降で1位の金額となった。

その結果、差引額は441億円の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額(▲は輸入超過)	伸率	
中部空港	1兆0,649億円	+15.6%	1兆1,090億円	+15.5%	▲441億円	+12.4%	
	2年連続の増加		2年連続の増加				

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車の部分品	884億円	+113.9%	輸入	増加品目	(1) 原動機	1,222億円	+72.5%
		(2) 自動車用等の電気機器	337億円	+73.0%			(2) 通信機	338億円	+86.8%
		(3) 電気計測機器	876億円	+14.4%			(3) 半導体等製造装置	154億円	+199.8%
	減少品目	(1) 通信機	77億円	▲50.6%		減少品目	(1) 医薬品	1,264億円	▲8.7%
		(2) 半導体等電子部品	767億円	▲7.5%			(2) 有機化合物	749億円	▲13.5%
		(3) 医薬品	129億円	▲18.9%			(3) 記録媒体(含記録済)	64億円	▲25.5%
	主要地域 増減	EU、アジア、アメリカが増加						アメリカ、アジア、EUが増加	

(参考) ドルレートは、110.50円(前年比1.6%、1.83円の円高)であった。

(注) 年間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。